

セルビア大使館

対ロシア貿易のほぼ100%が自由化

7月22日、セルビア経済・地域開発省のネボイシャ・チリッチ大臣と、ロシアの駐セルビア通商代表イェブゲニ・クディノブ氏は、両国の自由貿易協定(FTA)における例外品目表および物品の原産地規則に関する政府間協約に署名しました。セルビアの輸出企業にとってだけでなく、セルビアで対ロシア市場向け生産拠点の設立を計画する企業にとっても重要なステップとなりました。

今回の例外品目表の更新によって、対ロシア向け輸出で新たに関税が免除される品目は、カーペット／フロアマット、家具、キャッシュ・レジスター、モニター／プロジェクター／TV、でん粉、ブドウ糖です。セルビアの対ロシア向け貿易のほぼ99%がこれで自由化されました。

セルビアからロシアへの輸出で残る例外品目(関税免除の対象外)は、次のごく少数のみとなっています: 食用鳥肉(くず肉を含む)、特定チーズ製品、砂糖、スパークリングワイン、一部のアルコール製品(工業用を除く)、たばこ、綿糸、綿織物、特定の圧縮器、トラクター、乗用車、中古自動車。

本協約の署名後は、セルビアと関税同盟3カ国(ロシア、ベラルーシ、カザフスタン)の間で、同じ原産地認定規則が適用されることとなります。また同日の会合では、上記4カ国による原産地相互認証制度(diagonal cumulation of origin of goods)の適用可能性についても言及されました。

セルビア・ロシア間の貿易は安定的に拡大しており、今年最初の5カ月間で両国間貿易額は13.568億ドルと、昨年同期間と比べ40.2%増加しました。同期間中、セルビアからの輸出額は2.8億ドルと、前年同期間と比べ64.3%増でした。2011年1～5月間のセルビアの対外貿易総額は127億ドル、2010年同期間比では27%増加しました。

今回の協約署名でロシア、ベラルーシ、カザフスタンの関税同盟3カ国とセルビア間の貿易における整合化プロセスが終了しました。今後これら4カ国の輸出増と貿易促進、そしてセルビア経済の競争力強化が期待されます。

サイテルの新規雇用

6月23日、経済・地域開発省チリッチ大臣と米国のコールセンター大手サイテルSBA社代表は、投資奨励金に関する協定に署名しました。発表によると大臣は同社への投資奨励金として、新規雇用1名につき2500ユーロ、総額で75万ユーロを提供すると述べました。本プロジェクトの合計投資額は125万ユーロ、ニュー・ベオグラード地区に設立されるコールセンターで300名を新規雇用します。同センターは将来的にサイテル・セルビアの西欧圏の顧客をカバーする予定で、そのために同社は今後5年で2000人を雇用する見込みです。大臣は、従業員数5万2000人以上、世界26カ国で展開する同社のセルビア参入は、大変大きな意義があると述べています。

セルビアの若い数学者

世界の高校生が数学の才能を競う第52回国際数学オリンピックがオランダで行われ、セルビアは1つの金、2つの銀、1つの銅メダルを獲得する好成績を収めました。7月12日から24日にかけて行われたこのオリンピックには世界から計105カ国が参加しています。セルビアからは6名の高校生が出場し、3年生1名が金メダル、3年生と4年生の2名が銀メダル、3年生1名が銅メダル、4年生1名がその他の賞を獲得しました。

セルビアの2012年度WTO加盟

世界貿易機関(WTO)加盟交渉に必要な国内法の整備(貿易分野)完了に伴い、セルビアは来年、WTOの一員になる可能性があります。経済・地域開発省のアナ・ブラゴベッチ大臣補佐官は「このたび海外貿易事業法(Law on Foreign Trade Operations)改正案が出たことで、WTOルールとの整合化が図られた」と述べました。同氏によると、同法は2000年以降、2005年、2009年と段階的な改正を経て、自由化の推進と非関税障壁の撤廃が進んでいます。

お問い合わせは、犬丸マテヤ・ミレンコビッチ(セルビア投資輸出促進庁(SIEPA)海外直接投資アドバイザー、TEL: +381 11 3398 506、FAX: +381 11 3398 814、E-mail: mateja.milenkovic@siepa.gov.rs)まで。